

# 洛東の丘

～校長室から 洛東生の皆さんへ～  
令和2年9月18日(金)第18号

今週の四字熟語

大願成就(タイガンジョウジュ)

大きな願いが叶うこと

☆「9時」☆

「今日の晩、9時に電話するし、電話の前にいといてな。」

「うん、わかった。9時やね。」

学校で女子と約束を交わした。

夜8時頃からそわそわする。特に大事な用事があるわけではない。話そうと思えば学校ですませることのできる中身だ。でも・・・なんとなく女子と電話で話したい。そんな淡い気持ちから約束した。しかしこの約束を果たすにはいくつかのハードルを乗り越えなければならない。まずうちの電話は家族が夕食を摂るキッチン兼リビングにある(もちろん子機などない)。当然夕食後でなければならず、リビングに一人だけ残っているシチュエーションが望ましい。いつもなら母親は洗い物を済ませ、別の部屋で用事を始め、妹は自室に行く。父親が帰るまでまだ1時間はかかる。いつもなら我が家の「9時」はそういう時間だ。

しかし、母親はなぜか明日の料理の仕込みを始め、妹はいつもは観ていないTV番組に興じている。「なんで今日に限って・・・」と焦る・・・が、人の気持ちなどつゆほども知らない二人は談笑さえしている。壁にかかる丸い時計の秒針が進む。こんなとき魔法使いなら時計を止められるんかな・・・でもこっこの時計だけとめてもあかん・・・などと考えても仕方がないことが、焦っているはずの頭の中に浮かぶ。「9時」は近づく。母親の背中とTVに大口を開けて笑う妹の横顔を少しにらむ。「・・・あかん・・・限界や。ここでは無理や。」

ジャージに着替え、小学校の修学旅行か何かのときに買った小さながま口に10円玉を何枚か忍ばせ、ポケットに突っ込む。様子に気づいた妹が「あれ？お兄ちゃんどっか行くん？」と言うのを無視して、靴を履きながら 食べ過ぎたしちょっと走ってくるわ。と少し小さめの声で言う。「こんな遅くからなんでやの？」との声を背中で受け流し、勝手口から飛び出した。目指すはたこ焼き屋のそばに立っている赤い公衆電話だ。少し距離がある。走った。ひたすら走った。赤い電話が「早く！こっちこっち！」と手招きしている。

腕時計は8時58分を指す。間に合った。

少し呼吸が荒い。深呼吸をすると息が落ち着くと誰かが言ったことを思い出してやってみる。大して変わらなかったが「9時」だ。受話器を上げ10円玉を3枚入れる。暗記している番号を慎重に回す。

ルルルルルー ルルルルルー ルルルルルー・・・

「あれ？電話の前にはいないのかな・・・」

ルルルルルー ルルルルルー ルルルルルー・・・

「もしもし！」

「・・・(T\_T)」

「どちらさん!？」

「・・・あ・・・あの一・・・」

「あー!? 名乗れんのなら、かけて来るな!!」

ガチャッ・・・プープープー・・・

「(T\_T)(-\_-)」

・・・「9時」に電話の前にいといてと言ったのに・・・

翌日・・・

「ごめん。電話の前にはいたんやけど、お父さんに「どけっ!」って言われてん・・・」

「あ・・・そうやったんや・・・」最後の壁の高さに苦笑いを浮かべるしかなかった。

一人が一台電話を持つ今では到底考えられないが、思うようにならないことにあふれていたあの頃、それはそれで良かったのかなと思う。望まなくとも簡単に事が進む場合のある「今」は大変だと思う。皆さんには、「自分で自分を守る」という感覚をしっかりと身につけてほしい。



# 洛東写真館

玄関前に  
カニが  
いました！



フェールの  
外に朝顔



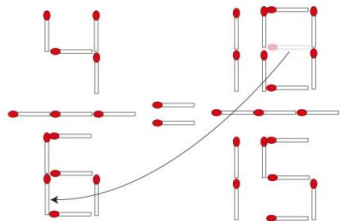
自習室です。  
消しゴムのカスは  
これで



## 頭の体操

介護用品・福祉用具のレンタルと販売  
ダスキンヘルスレント HPより

第16号の答え



漢字イラストクイズです。漢字でなにかを  
あらわしています。さて何でしょう？

